



～2020年 本校は創立120周年を迎えます～

フォトニュース

No. 102



令和2年10月14日

51st Poplar Festival テマ「Just Smile～笑顔の花を咲かせよう」(昇降口) ▲

* 地域と共に知恵と勇気を育む *

長野県蓼科高等学校

〒384-2305

長野県北佐久郡立科町大字芦田3652

再び楽しい学校生活を送るために 一人一人ができる対策で、助け合い 支え合い 当たり前前日常へ。

8月警戒レベル3(長野県)、いわれなきコロナ差別やネット上での誹謗中傷が社会問題となる中、日程短縮・校内祭として開催された今年の第51回ポプラ祭。生徒会では、夏休み明けに全校アンケートを実施、このコロナ状況下で他人事ではなく自分達に何ができるか考える時間を持ちました。ポプラ祭当日のオープニングで、このアンケートを基にして「蓼高平和宣言」が発表されました。不当な差別・偏見を嫌い、今私達ができる対策をとることで仲間としてお互いに助け支え合い、より平和な世の中の実現を目指す宣言になりました。



▲ 生徒会コロナ対策特別企画で「蓼高平和宣言」を発表した開祭式

責任ある行動、協力に感謝

～文化祭実行委員長から、全校の皆さんへ～

今年は新型コロナの影響で例年とは違った日程であったり、コロナ感染予防のため対策を立てながら新しい企画を計画・実施するなど大変な時期もありましたが、全校生徒一人一人が自分の役割に責任をもって行動し協力してくれたからこそ、無事成功できた文化祭だったと思います。各企画の中では、今までできていたことが今回はできないなど制約が多くありましたが、その中でも全校が楽しめる企画をみんなで考えて実行できたことはとても良い思い出となりました。

コロナ禍という厳しい状況の中だからこそ、今できることを皆で考えて今年らしい文化祭を行えたことを、応援してくれたすべての皆さんに感謝したいです。

文化祭実行委員長 山浦 彩香

猪又竜先生・全校人権教育講演 多様性と助けあいの社会を知ろう ～きみはきみのままで良いんだよ～

世の中にはいろいろな人がいる。人のバリエーションは多彩で、得意・苦手も人それぞれ。努力して頑張ればできることとどうしようもないこともあるが、できないことはできないでよしとする。そこは誰か得意な人に助けてもらって、代わりにキミができることでだれかを助けてあげればいい。助け合いを前提に、助けたり助けられたりがもつと自然に心のバリアフリー化がすすむといい。9月、生まれた時から心臓に病気をもち猪又竜さんを講師にお迎えし、全校で多様性や助け合いについて学ぶ時間をもちました。講演後は会場からの質問に丁寧に答えていただく時間もありました。講演の後、教室に戻って書いた皆さんの感想の一部を紹介します。

○「～ができないから諦める・頑張るのではなく、できない所は補い合いながら生きる」という言葉に、とても救われた気がした。私は今まで、見て見ぬふりをし、他人・詳しい人に任せれば安全だいいやなどと思っていた。しかし、今回の講演会に参加し、どんな人であろうと助けを求めていたら助けようという気持ちになった。自分の考えをしっかりと持ち、生活していきたい。(1年生)

○自分でできないことは、人に助けてもらえば良いといって、結構できないことを人に頼ってばかりいた自分が情けなくなることも少しはあった。でも今回の話を聞いていたら、できない自分を責めるのではなく、できないことは皆が助け合っていけば良いのだと強く感じさせられた。今回の講演は自分にとってすごくためになった。(2年生)

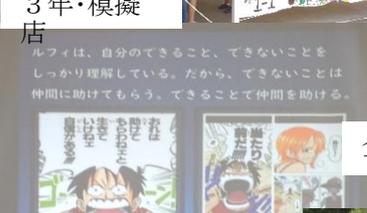
○講演の中で一番印象的だったのが平等と公平は違うということである。猪又さんはケーキの切り分け方を例にお話されていた。私の中で「ケーキはみんな好きでたくさん食べたいと思っている」という思い込みがあった。今回のお話を聞いて、人はそれぞれ違うから、その人に合わせた接し方が大切なんだとの考えが変わった。例えのお話で言うと、公平にケーキを分けるためにはその人のことを良く知る必要があると思うので、どんな人ともコミュニケーションを大切にして、お互いに相手を認識し、支え合える社会になつたらいいなと思った。(3年生)

蓼高福祉コースと7年間、ありがとう 盲導犬ロージーちゃん、引退!

毎週木曜日、青井先生の盲導犬として出勤してきたロージーちゃん(ラト・ル・トリカ-)が、高齢のため10月22日を最後に引退します。福祉コースでは4代目の盲導犬。引退後は、悠々自適な余生を過ごす引受先がもう決まっていると話す青井先生も、別れを前にしてどこか寂しそう。

この日は雨のため、黄色いカッパに身を包んで出勤。福祉教室の隅で皆さんの学習を静かに見守っていました。きっといろいろな教えてくれたね、ありがとう。



| | 日 程 | 学 校 ・ 生 徒 の 様 子 |
|----------------------------|---|--|
| 8 月 ・ 葉 月 (は づ き) | 1～19・夏季休業 3～5・蓼高タイム・インターンシップ 3～13・「夏ボラ2020ボランティア」15名が参加 (内訳: 1年1名、2年11名、3年3名) ・国道142号線沿いのゴミ拾い …7名 ・まちの茶の間 ただいま …5名 ・デイサービスセンター ほほえみ …1名 ・おむすびサロン …2名 10・山の日 13・14学校閉庁日 20・始業式・実力テスト 21～28・ポブラ祭準備期間 24・ポブラ祭係会② 27・蓼科高校教育振興協議会 創立120周年記念事業第1回実行委員会 (立科町中央公民館) 28・第51回ポブラ祭 開祭式 29・校内祭 後夜祭 31・全校清掃・閉祭式 |  <p>開祭宣言</p>  <p>軽音楽部</p>  <p>学校長挨拶</p>  <p>書道部</p>  <p>アクセラリー作り</p>  <p>演劇部 ライブビューイング</p>  <p>蓼科学アーカイブ</p> |
| 9 月 ・ 長 月 (な が つ き) | 1・ポブラ祭 振替休日 2・地域 I カヌー体験授業①・女神湖 3・2年身体測定 4・3年内科検診 5・第一体育館外壁改修工事開始 7・耳鼻科検診 8・生徒会正副会長選挙 公示 8～18・立候補者受付 9・地域 I カヌー体験授業②・女神湖 10・全校人権教育講演会 11・創立120周年記念DVD企画会議 14・1年耳鼻科検診 16・地域 I カヌー体験授業③・女神湖 1年生活安全講話Ⅱ (LINEオンライン講座) 17・第1回推薦式 ▶▶▶▶ 18・2年内科検診 21・敬老の日 秋の全国交通安全運動(～30) 22・秋分の日 23・地域 I カヌー体験授業④・女神湖 第2回中学校訪問開始 25・公示 立候補者発表 28～30・2学期中間考査 30・1年身体測定 2年映画・平和学習 ワックスがけ (生徒自ら行う学習環境整美) |  <p>キッチンカー クラブ 販売</p>  <p>2年・沖縄展</p>  <p>茶華道部</p>  <p>3年・模擬店</p>  <p>3年・模擬店</p>  <p>リースステージⅡ リースロー</p>  <p>全校人権講演会</p> |
| 10 月 ・ 神 無 月 (か ん な づ き) | 校内授業互観月間 5・1年歯科検診 5～16・秋の読書旬間 5～7・選挙活動期間 6・創立120周年記念事業 打合せ会議 8・立会演説会・生徒会選挙・投票・開票 読書案内① 12・2年歯科検診 高初研・研究授業 15・3年歯科検診 読書案内② 1・2年選択科目説明会 3年就職希望者対象直前ガイダンス 16・就職試験開始 創立120周年記念DVD企画会議 20・1年CAPながのプログラム① 22・1年CAPながのプログラム② 2年進路行事(分野別講義・調べ学習) 3年強歩大会コース整備 27・中学生体験入学 28・学校評価中間評価 29・後期生徒総会 30・強歩大会 |  <p>1年・生活安全講話</p>  <p>カヌー体験授業</p> |